

小田原市教育委員会定例会会議録

1 日時 令和5年7月26日(水)午後1時30分～午後2時15分

場所 小田原市役所 7階 大会議室

2 出席者氏名

1番委員 柳下正祐(教育長)

2番委員 益田麻衣子(教育長職務代理者)

3番委員 井上孝男

4番委員 菱木俊匡

5番委員 秋元美里

3 説明員等氏名

教育部長 飯田義一

教育部副部長 栢沼教勝

教育総務課長 岡田夏十

保健給食課長 竹井尚久

教育指導課長 中山晋

教育相談担当課長 西村泰和

教育指導課指導主事 鈴木孝宗

教育指導課指導主事 上條大志

(事務局)

教育総務課係長 三浦慶太郎

教育総務課主任 漆崎亜結美

4 議事日程

日程第1 議案第25号 小田原市いじめ防止対策調査会委員の委嘱について(教育総務課)

日程第2 議案第26号 令和6年度使用教科用図書(小中学校特別支援学級用)の採択について(教育指導課)

日程第3 議案第27号 令和6年度使用小学校教科用図書(国語・書写・社会・地図)の採択について(教育指導課)

5 報告事項

(1) 市議会6月定例会の概要について【資料配布のみ】(教育部・文化部)

6 議事等の概要

(1) 柳下教育長開会宣言

○柳下教育長 本日の出席者は5人で定足数に達しております。

なお、本日の傍聴者の定員につきましては、小田原市教育委員会傍聴規則第4条ただし書の規定に基づき、30人とします。

また、8月2日に開催予定の小田原市教育委員会臨時会の傍聴者の定員につきましても、本日と同程度を予定しております

(2) 6月定例会議事録の承認

(3) 議事録署名委員の決定…3番 井上委員、5番 秋元委員に決定

(4) 日程第1 議案第25号 小田原市いじめ防止対策調査会委員の委嘱について

(教育総務課)

○教育総務課長 それでは、御説明いたします。

議案書をおめくりいただき、「小田原市いじめ防止対策調査会委員名簿」を御覧ください。

小田原市いじめ防止対策調査会委員につきましては、小田原市いじめ防止対策調査会規則により「医師、弁護士、臨床心理士その他教育委員会が必要と認める者」のうちから委嘱することとなっております。任期については2年と定めており、令和5年7月31日をもって任期が満了することから、提案するものでございます。

これまで専門的な立場から御指導や御助言をいただいていたまいりました坂本結氏、嶋崎政男氏、杉崎雅子氏及び横田俊一郎氏の現委員4名につきましては、引き続き委員をお願いするものです。

また、新任の委員として社会福祉士であり、県教育委員会のスクールソーシャルワーカー等に従事する岸本靖子氏を候補者とさせていただきましたが、小田原市いじめ防止対策調査会委員として適任と考えられますので、委嘱いたしたく提案するものでございます。

以上で、説明を終わらせていただきます。

(質疑・意見等なし)

採決…全員賛成により原案のとおり可決確定

(5) 日程第2 議案第26号 令和6年度使用教科用図書(小中学校特別支援学級用)の採択について

(教育指導課)

○教育相談担当課長 それでは、御説明申し上げます。

議案書をおめくりいただき、令和6年度使用教科用図書(小中学校特別支援学級用)の採択について(案)を御覧ください。

はじめに、特別支援学級の児童生徒が使用する教科用図書につきましては、通常の学級で使用する教科用図書が適当でない場合、一般図書、附則第9条図書及び特別支援学校用教科用図書目録の1種類から適切な図書を選び、教育委員会が毎年これらを教科用図書として採択することとなっております。委員の皆様は御審議いただき令和6年度使用教科用図書

(案)につきましては、各児童生徒用の図書としてはナンバー1からナンバー244の244冊を発行者ごとに1ページから13ページに、また、特別支援学校用教科用図書目録から選択しましたナンバー245からナンバー253の9冊を13ページの途中からお示したものでございます。なお、いずれの図書も各学校の担当者が児童生徒の個性や発達の段階、障がいの度合いなどを考慮しまして、「その子に合った適切な教科書は何か」という視点で神奈川県立特別支援学校、採択教科用図書、調査研究資料等を参考に、その保護者の方と相談しまして選択したのとなっております。そして、この一覧は各学校からの希望書籍とその理由につつま

して教育委員会事務局におきまして精査いたしまして、学校の報告書の記載のとおりにとりまとめたものとなっております。

以上で説明を終わります。

(質疑・意見)

○益田委員 希望理由が、なぜこれを選んだのか、どういう特色がある本なのかということが書かれていて、とても分かりやすくまとまっていたと思います。ありがとうございます。先生方大変だったと思いますが、ありがとうございました。

○柳下教育長 前回の採択のときだったでしょう。この希望理由のところ個に合った視点で書いてほしいというような要望がございまして、全てそのようにしていただいたということで大変だったと思いますが、ありがとうございました。

(その他質疑・意見等なし)

採決…全員賛成により原案のとおり可決確定

(6) 日程第3 議案第27号 令和6年度使用小学校教科用図書(国語・書写・社会・地図)の採択について

○教育指導課長 それでは、私から御説明申し上げます。

今年度は令和6年度から使用する小学校の教科用図書の採択年度となっております。本日の教育委員会定例会及び8月2日の教育委員会臨時会の2回にわたって、文部科学省による教科書検定で合格した教科用図書の中から、小田原市の児童にもっともふさわしい教科書を教育委員の皆様へ採択権者として採択していただきます。

協議に当たって皆様には事前に神奈川県教育委員会が作成した令和6年度使用小学校教科用図書の選定に係る調査研究資料と小田原市教科用図書採択検討部会が作成した令和6年度使用小学校教科用図書調査研究報告をお送りしておりますが、これらの資料に加え、皆様が独自に調査研究いただいた内容をもとに御協議いただくこととなります。

なお、本日採択していただく種目は、国語、書写、社会、地図の4種目となります。

説明は以上です。

(質疑・意見等なし)

○柳下教育長 それでは、令和6年度使用小学校の教科用図書について、種目ごとに各委員から御意見をお聞きした後に、多数決を行い、候補とする図書を決定していきます。全ての種目の図書の候補が決定した後、一括で採決を行います。図書に関する御意見につきましては、皆さんの独自の調査研究をもとに、小田原の子どもたちにとって最もふさわしいと考える教科書について、1社または2社について御発言ください。多数決で過半数のものがあれ

ばそれを候補としますが、過半数となるものがない場合、再度上位2社または3社による多数決を行います。このような方法で進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○柳下教育長 御異議もないようですので、よろしくお願いします。

それでは国語から候補の決定を行います。国語は、3社が発行しております。それでは委員の皆様から御意見を伺います。益田委員、菱木委員、秋元委員、井上委員の順にお願いします。

○益田委員 国語ですが、国語力というのは全教科に影響する科目だと思っております。なので、入学してまずは読むこと、書くことの楽しさを感じてもらい、高学年では語彙力や文章の読解力を身に付けられる教材であるか、また、読書への興味をつなげられるような工夫があるかという点を重視して選びました。何点か良かったと思った点を述べたいと思います。

まず、光村図書が良いと私は思ったのですが、光村図書は全体的に文字が読みやすく、読む、書く、話す、聞くなどの単元が明確になっていました。本は友達、巻末の本の世界を広げようなど読書の広がりをも促していました。これに関連しては、5年のやまなしの単元で作者の宮沢賢治の生涯についての資料文章も載っていて、作品と作者への興味をつなぐ工夫もされていました。

また、古典の作品も数多く取り上げられていて、情報や理科的な題材も扱われていました。また、さらに1番良いなと思ったのは、やはり子どもに読んでもらいたいと思う名作を取り上げ続けているという点です。国語の学びを見渡そうというところでは、1年間の学びの見通しが立てられていて、また、そこで言葉について学んでいこうという記述があって、国語とは何を学ぶ教科かということが明確にされていました。

以上の点から、私は光村図書を推したいと思います。以上です。

○菱木委員 どの出版社も学習の目的が分かるように、話す、聞く、書くの単元ごとに目次に印が付けられていました。また、授業中に先生に何行目を見なさいと言われた時、子ども達は急いで行数を数えなければいけないのですが、文章の欄外に5行目、10行目とが振ってあるので子ども達は探しやすく、授業が受けやすくなるような工夫がされていると感じました。

それからデジタルコンテンツに関してですが、前回の改訂の時、既にQRコードは教科書に記載されていて先生は使えたのですが、児童の方にコンピューターが配布されていないため実際に使えるようになったのは今年度からということでしたので、私はそこをメインに見ました。

デジタルコンテンツは各社特色がありました。「言の葉」という「ゆるキャラ」を使ったり、児童が興味を持ったコンテンツ、おもしろいと思ったところに線を引けたりだとか、随所に工夫がされていたので、今のPC時代にはふさわしいと思いました。それが子どもたちの学習力をかき立てるということにもつながりますし、コンテンツは各社相当意識して作りこんでいると感じました。特にデジタルコンテンツでいいなと思ったのが、児童が大人にインタビューする動画でした。まず児童が大人に質問し、その返事を聞きながらメモをとり、再び質

問し返す。さらに、その返事を聞きながらメモした中からまた質問をするという、話す、聞く、書くの実践をデジタルコンテンツを通して見れるので良かったと思いました。

ただ、教科書は何度も繰り返して読むとか、家庭によっては保護者がお子さんに読んで聞かせるということもあるので、やはり活字がきれいであるとか、行間がある程度空いているとかが教科書の基本と思います。

それから子どもにとって一番大変なのは漢字学習なのですが、漢字を学年の終わりにまとめて勉強して、学力を付けていくとなると索引がきちんとしていることが重要と思います。書き順も記載されていて、索引もちゃんとしている光村図書の索引が一番見やすく復習しやすいと思いましたので、私は総合的に見て光村図書を推薦いたします。

○秋元委員 私も光村図書を勧めております。というのが、物語が非常に引き込まれる内容が充実してあること、ごんぎつねとか一つの花、やまなしなど、世代を超えて伝承できるようなこの物語知ってるよというような話ができるような内容がすごく私にとって読みやすい、親子で読みやすいというのが自分の中ではお勧めするところであって、あとは、話すこととか聞くこととか書くこと、読むこと、言葉の問いを持つという新設がされたようで、その学びを進めるイメージがしやすくなっているということと、読むことでは、作品や文章を一読した後、児童の心を揺さぶるような呼びかけをして、児童たちが考えたい思いというものを自分たちが何をそこで考えるかということを大切にされていると思いました。話すこと、聞くこと、書くことでは、これまでの経験ややってみたい思い、伝えたい思いが問いにつながるように示されているように感じました。本当にどの出版物も内容が素晴らしかったのですが、私は引き込まれる物語として光村図書の教科書が読みやすかったのでこちらをお勧めしました。以上です。

○井上委員 国語の教科書は、心に残る成長期に応じた文章を読ませたいと思います。3社とも良文が載せてあると思いますが、光村図書は、読み継がれてきた経緯があり、各学年で読んでもほしい、学んでもほしい、考えてほしい、このような物語文や説明文を継続させていきたいと思いました。また、図や写真の配列が文章とのバランスととてもよく合っていて見やすかったと思います。巻末の本の世界を広げようでは、読書に対して興味を持てるような本の紹介もあり、図も含めてとても子どもたちが関心を持てるようになっていて、6年間に習う漢字やこの教科書で習う漢字が分かりやすく記載され、利用しやすくされていると思いました。

以上のことから、私は、光村図書を推したいと思います。

○柳下教育長 各社とも言葉や文章を大切にしっかり作られているという印象を持っています。その中で特に光村図書は、全領域を通して言葉を大切にしているということが良いと思います。言葉の宝箱というのがあって、これもとても良いと思うのですが、先ほども話がありましたように、物語が豊富で充実していること、それがまた系統立っているということ、言葉を大切にすることで物語の創造的な読みができます。物語を読むのに言葉を大切にしないで勝手に空想で読んでも本来の良さは分からないと思います。そういう点で、言葉を大切に良い物語をじっくりと読んでいけるそういう良さがあると思います。今後、国際化がどんどん進んでいく中で、国語の大切な言葉、大切な文章というのは、この時期にじっくりと読み味わって読み込んでもらいたいというそういう思いを私は強く持っております。また、子

どもたちの問いから読みを深めていく、そういう学びができるということからも、私も光村図書を推したいと思っています。

(その他意見等なし)

○柳下教育長 それでは、各委員からの御意見を伺いましたので、多数決に移ります。今から出版社名を読み上げますので、そこで挙手をお願いします。(1社ずつ、挙手による多数決)

東京書籍	…	0票
教育出版	…	0票
光村図書	…	5票

○柳下教育長 多数決の結果、「光村図書」が候補となりました。

○柳下教育長 それでは次に、書写の候補の決定を行いたいと思います。書写は、3社が発行しております。また、委員の皆様から御意見を伺います。益田委員からお願いします。

○益田委員 書写は、字を書くことが減ってしまった今だからこそ日本の文字の美しさを楽しく学んでもらいたなという視点から選びました。光村図書を推したいと思うのですが、3年生の毛筆の始めは、とても苦手意識を持ちやすいときだと思うのですが、教科書の中でイラストを用いたり、擬音語を用いたりして、楽しく学べる工夫がされていると感じました。また、6年生の書写ブックでは、書写で学んだことを日常につなげる工夫もされていて、書写を日常につなげて、教科を越えたところで、子どもたちが感じられる工夫が良かったなと思いました。それと、使いやすさですが、開きやすくて、見本として置くときに使いやすいと感じましたので、光村図書を推したいと思います。以上です。

○菱木委員 私は、東京書籍を推薦したいと思います。手本が余白も含めて半紙の縦横の比率どおりに載っていました。半紙のどの位置にどのような大きさで文字を書くかというのが1番難しいのですが、それが理解しやすい手本になっていたと思います。それから同じページに書き順を書いた字が見本の半紙の左端にありましたので、左利きの児童にも見やすい配慮がされていると思いました。それからこの前学校見学で書写の授業を見学した時に気が付いたのですが、子供達は硬筆のごとくすぐ早く筆を動かして1時限の間に6、7枚書いていました。書写は集中して丁寧に書くのが原則なので、通常はどんな頑張っても3枚程度しか書けないはずですが、書写は書く速度も大切なので、その点に注目して動画コンテンツを見ました。動画コンテンツは、正しい書き順も学べますし、書いた字の縁や筆を動かす速度の再現性にも優れているので、教材としてふさわしいと思いました。丁寧に集中して書くということを再認識させてくれる動画を評価して、私は東京書籍を推薦いたします。

○秋元委員 私は、書写は光村図書を推したいと思います。机の上が結構狭いので、半分に折ったときに、書き順が半ページで見やすく完結されているのが、1番の決め手になりました。

た。キャラクターも充実していて、書き方や動きなど筆使いを直感的に理解できるような工夫をされているのも、子どもたちがイメージしやすいような努力を1番光村図書がされているかなと思いました。以上です。

○井上委員 文字を学ぶ上で、美しい字を又は丁寧な字を書くことが大切なんだということを思えるような記載がされている教科書が良いと思いました。光村図書は、文字を学ぶ上で、文字の歴史など興味が持てる内容が記載されていて良いと思いました。漢字の部分同士の位置や大きさなどの関係が分かりやすく入れてあり、他社と異なり、同じページに筆順が分かるようになっている、適度な大きさで見やすく良いと思いました。以上から光村図書を推薦いたします。

○柳下教育長 各社が内容的にはしっかりと構成されていると思います。その中で、光村図書が毛筆の学習が系統的に学べるというのが良いと思います。手本が良いと思うんですね。右側の上に筆使いが参照できるものがあるんですが、それしか載っていない。簡単で良いですよ。硬筆の場合も内容は各社同じようなのですが、子どもにとって見やすく分かりやすい、あまり余計なものが書いていない方が私は良いと思います。特に、毛筆というのは、3年生で始めるわけですけれども、今後、筆に関わる時間というのが今の子どもたちは少なくなっていくと思います。パソコンを使って、キーボードを使う時間が長くなると思いますので、だからこそこういう授業をうんと大事にしてほしいなど。特に毛筆は大事にしてほしいなど。そういう観点から私は光村図書を推したいと思います。

(その他意見等なし)

○柳下教育長 それでは、皆様から御意見を伺いましたので、多数決に移ります。また、出版社名を読み上げますので、挙手をお願いします。(1社ずつ、挙手による多数決)

東京書籍	…	1票
教育出版	…	0票
光村図書	…	4票

○柳下教育長 多数決の結果、「光村図書」が候補となりました。

○柳下教育長 次に、社会の候補の決定を行います。社会は、3社が発行しています。委員の皆様から御意見を伺います。益田委員からお願いします。

○益田委員 社会では、社会課題を自分事として捉え、解決方法を考えることができ、また、将来のキャリアを考えるきっかけにもつながると良いなと思い選びました。まず、日本文教出版ですが、様々な分野で働いている人の話が名前と写真付きで掲載されていて、子どもにとって身近に感じられて、自分事に捉えられるような工夫がされていました。また、SDGsのコーナーでも巻末の資料を使用したりして、主体的に考えられるような工夫がされ

ていました。もう一つ、教育出版の方も良いと思ったのですが、調べる、まとめるという順序が分かりやすく表示されていました。また、問題を作り、学習の見通しを立てる構成が明確になっており、社会科の学習にふさわしい構成だと感じました。

ここでも様々な分野で働いている人の話が名前と写真付きで掲載されておりました。自分事として将来自分はそういう風になって、いろいろな職業があるんだということが身近に感じられて良いなと思いました。

「つなげる」では、学んだことを生活に生かせるような促しもありました。

最後に学びリンクには、多彩なコンテンツがあって、情報量の多さも良いなと感じました。

私は、2社良いなと思ったのですが、どちらかというところ、教育出版を推したいと思いません。以上です。

○菱木委員 私は教育出版を推薦したいと思います。小学校から中学校に進学すると、歴史は日本の歴史と世界の歴史が頭の中で繋がっていないと解らなくなってしまいます。さらに高校に進学すると、縄文・弥生に始まり江戸に終わる明治前の歴史の時間が減り、近代史の時間が増えます。将来大人になった時、海外の人から近代日本について質問された際にきちんと自身の意見を言うことができるようになるためです。この方針を私は良いと思っています。自身の小学生のときを思い出すと近代史はほんの触り程度で終わってしまい世界の中の日本を意識する授業はなかったように思います。その点今回読まして頂いた教科書は、6年生で政治と暮らし、それから日本の歴史、世界の中の日本という単元で勉強をされていてよいと思いました。現代会の大きな問題であるSDGsもしっかり紹介されていました。特に良いと思ったのが、行間が空いていて見やすく、きちんと整理されていた索引です。暗記をしなければいけない社会という科目では、整理された索引がないと、自分の理解度が把握できません。以上より、順序立てて読みやすく、索引が一番きれいに整理されていた教育出版を推薦いたします。

○秋元委員 私は、社会は教育出版を推薦いたします。理由としては、4年生の教科書の中で「私たちの県のまちづくり」ということで、箱根寄せ木細工の技術を受け継ぐ人々というコーナーが設けられており、身近な文化は子どもたちが興味を持ちやすいですし、箱根寄せ木細工ということで親しみやすいものを取り上げられているなということ、私はとても良いと思いました。また、「学びリンク」ということで独自のウェブサイトが設けられていること、そちら二次元バーコードから学習に役立つ情報をすぐに見ることができて、これから子どもたちがもっと社会に興味を持ったときにいろんな活用例とか、写真とかイラスト動画とかが充実してるコンテンツが見れるというところが良いと思いました。以上です。

○井上委員 社会は3社とも二次元コードの充実、それから理解を深める工夫が良くされているなと感じました。また、東京書籍は5年生、6年生の分冊で、社会の教科書は分厚くて重たいということがあると思うんですけども、重量負担の軽減という工夫がされていて良いなと思いました。その中で、教育出版は、6年生が中学の学びにつなげて興味だとか意欲が持てるように公民、歴史、国際というような順序で、バランス良く工夫されていて学びやすいと感じました。また、他にも歴史の写真が今までモノクロで出ていたのが、技術によっ

てカラー化して再現しているのです、子どもたちにより当時の様子が想像しやすくなっている、とても分かりやすい写真だと思います。また、インタビュー記事もとても豊富で、こういうようなインタビュー記事を読むことによって、身近な教科書であるという印象を持ち、歴史社会を学ぶものとしては、とても興味を持てる教科書になっていると感じました。歴史を学ぶ冒頭には年表があり、年表は通常教科書の一番後ろに出てたりするのですが、冒頭に差し込まれていて、これから学んでいく内容が順序立てて見ていく、興味を持っていくナビゲーションのような形になっていて、とても良いなと思いましたので、教育出版を推したいと思います。

○柳下教育長 私は、教科書の選定にあたっては資料をしっかりと見させていただきました。子どもたちにとって資料は、そこから問題を導き出したり、あるいは、自分の問題を解決していく手がかりとしていく大変重要なものなんですけれども、その中でどういう資料が子どもたちにふさわしいのか、どういうものが載っているのかという点で見させていただいたのと、ただ資料だけではなくて説明する文がありますが、資料と説明とのバランスというものがあって、それが最も良いと思ったのが教育出版です。東京書籍も学びを大切にするスタンスをとっていると思うのですが、資料と説明のバランスといった点からは教育出版が良いと思いました。それから学習の流れがつかめるということと、3年生の入門期のタブレット型コンピューターを生かそうと積極的にICTを活用する仕組みができていますけれども、そこも良いなと思いました。小田原はICTを活用した教育の推進計画というのを作っていて令和2年度から令和6年度までで小中とも完成するという事になっているんですけれども、それとも合うということです。それから小田原の教材化というのを進めているんですけれども、それともマッチする。そして、小田原デジタルミュージアムというものができたんですけれども、そこに研究所の副読本とか資料とか様々なものが出ているんですが、それともリンクした学習ができるというところ、他でもできると思うんですけれどもしやすいというところ、そういうところから考えて教育出版を選ばせていただきました。

(その他意見等なし)

○柳下教育長 それでは、出版社名を読み上げますので、挙手をお願いします。(1社ずつ、挙手による多数決)

東京書籍	…	0票
教育出版	…	5票
日本文教出版	…	0票

○柳下教育長 多数決の結果、「教育出版」が候補となりました。

○柳下教育長 地図の候補の決定を行います。地図は2社が発行しております。

○益田委員 どちらも楽しいいろいろなイラストが描かれていて、とても良い地図だと思います。子どもたちが今いる場所から小学校また小田原市、神奈川県、それを越えた全日本、また世界へ、どんどん興味が湧いてくるような地図が良いと思って見させていただきました。そこを見たときに帝国書院は色使いがとても良くて高低差がとても分かりやすくなっていました。ただ、江戸時代の結びつきとか江戸の地図とか歴史への興味も促しているところもあって、今現在の地形だけではなくて、昔から続いているということの説明があったところも良かったと思いました。過去の災害事例も載っていて、地震とか防災とかにも子どもの興味がいくように、そういうコーナーもあったり、あと世界地図の中に「世界の子ども」というコーナーがあって自分たちと同じぐらいの子どもたちの写真が載っていて、こういう風な生活をしているということが写真で出ていることによって、自分の同年代の世界の子どもの生活は、なかなか子どもたち見れないと思うんですけども、ちょっとしたところで世界を感じられるのが良いと思いました。なので私は帝国書院を推したいと思います。以上です。

○菱木委員 2社とも地図の見方と地図帳の使い方から始まって、開いていくとまず日本の領土の全体が出てきて、それから自分の住んでいる各地方の地図があって、最終的には世界の地図が載っていて、最後には日本の自然の様子というコーナーもあって、分かりやすく構成されていると思いました。あと、デジタルコンテンツもみんながアレルギーを起こす縮尺を、どのように使って距離を出していくのかという説明が付いていました。地図帳では土地の地形と産業の関わり、それから土地の地形と農産物・水産物等がリンクして、解りやすく見やすいことが、大事だと考えているので、デジタルコンテンツを見比べたときに、帝国書院の方が「地形の様子と土地の利用」の地図と「地形の様子と農林水産物」の地図とを重ねて見えるように工夫されていたので、帝国書院を推薦いたします。

○秋元委員 私も地図は帝国書院を推薦させていただきます。圧倒的に色使いが見やすいところと地図が複数用意されていて学年の習熟の度合いに応じた使用ができるようになっている。また、縮尺が1センチとか何キロとか表しているのがイラストで説明されているとか分かりやすいです。資料の中の情報量が抑えて高低の差とかも抑えて、読みやすくされているということで、そういう細やかな配慮も素晴らしいと思いました。また、日本と周辺国との関係が分かりやすく示されていて、領土とか領海、経済水域とか現在の国際関係を考えるにも有効かなと思いますし、自然とか災害とか防災、産業、貿易、幅広いテーマの資料や統計が掲載されているので、いろいろな社会の見解、考え方も勉強しやすい工夫があると思いました。以上です。

○井上委員 調べる、覚える、知る、確認する、そういうことのために見る教科書になってくと思う。そのために、色合いがはっきりとしていて、見やすいもの、探しやすいもの、そういう意味で2社を比較したときに、帝国書院の方が見やすいと感じました。資料や図も分かりやすく掲載され、充実していて良いなと思いましたので、帝国書院を推させていただきます。

○柳下教育長 私は、両者見ていて甲乙つけがたいと最初思いました。見ていくうちに、決める視点として2点、まず地図帳の使い方ですけども、最初、地図帳との関わり方という

ことから考えると帝国書院の方が馴染みやすいということが1点、2点目がやはり皆さんも話されていましたけれども、地図の色合いです。地図は平面ですが、ぱっと見たときに高さがイメージできるような、ここは高い、ここは低いということがぱっと分かるようなそういう色使いがしてあるのが帝国書院だと思いましたので、以上2点から帝国書院を推していきたいと思います。

○柳下教育長 それでは、出版社名を読み上げますので、挙手をお願いします。(1社ずつ、挙手による多数決)

東京書籍	…	0票
帝国書院	…	5票

○柳下教育長 多数決の結果、「帝国書院」が候補となりました。

○柳下教育長 以上により、令和6年度使用小学校の教科用図書については、国語「光村図書」、書写「光村図書」、社会「教育出版」、地図「帝国書院」が候補となります。この4つを令和6年度使用小学校の教科用図書として採択してよろしいでしょうか。

(異議なし)

採決…全員賛成により原案のとおり可決確定

7 柳下教育長閉会宣言

令和5年8月28日

柳下教育長

署名委員（井上委員）

署名委員（秋元委員）